

## 第1部:BNCTの概要と世界をけん引する研究成果

	<p><b>鈴木 実</b> 京都大学原子炉実験所 教授 <span style="float: right;">第1部進行</span></p> <p>1999年 京都大学医学部大学院博士課程修了(医学博士)。京都大学医学部附属病院放射線科医員、近畿大学医学部放射線医学教室・病院講師、University of Minnesota・Radiation Biology Sectionに滞在し放射線腫瘍生物学の研究に従事、京都大学原子炉実験所附属粒子線腫瘍学研究センター・助手、助教、同所・粒子線腫瘍学研究センター・中性子医療高度化研究部門・特定准教授等を経て2013年より教授。</p>
	<p><b>小野公二</b> 京都大学 名誉教授・客員教授 <span style="float: right;">講演1</span></p> <p>1974年 京都大学医学部卒業。川崎医科大学放射線科(治療)助手、病院講師、京都大学医学部附属病院助手、UCSF 及び西独エッセン大学における博士研究員、京都大学医学部放射線医学講座講師を経て、1991年京都大学原子炉実験所教授に就任。2013年同所退職。現在、同所寄附研究部門(中性子医療高度化研究部門)教授。専門は、がん放射線腫瘍学と放射線生物学の研究(中性子捕捉療法の基本と臨床)。</p>
	<p><b>田中浩基</b> 京都大学原子炉実験所 准教授 <span style="float: right;">講演2</span></p> <p>2004年 九州大学大学院工学府エネルギー量子工学専攻博士後期課程修了(工学博士)。日本原子力研究所中性子利用研究センター(現 日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門) 博士研究員、京都大学原子炉実験所放射線生命医科学研究本部助手(現 助教)、特定准教授を経て、2016年より准教授。</p>
	<p><b>畑澤 順</b> 大阪大学大学院医学系研究科 教授 <span style="float: right;">講演3</span></p> <p>1983年 東北大学大学院医学研究科 博士課程修了(医学博士)。米国 NIH Visiting Fellow、東北大学サイクロトロン RI センターサイクロトロン核医学部助手、秋田県立脳血管研究センター放射線研究部部长 等を経て、2002年より大阪大学大学院医学系研究科放射線統合医学講座(核医学) 教授。日本核医学会・アジア核医学会 理事長。主な研究領域は PET を用いた脳循環代謝及び脳機能の研究、PET-MRI、神経免疫の PET。</p>
	<p><b>切畑光統</b> 大阪府立大学 BNCT 研究センター 特認教授 <span style="float: right;">講演4</span></p> <p>1978年 大阪府立大学大学院農学研究科農芸化学専攻 博士後期課程修了(農学博士)。1979年同大農学部助手、講師、助教授を経て1996年教授。改組により大学院農学生命科学研究科および大学院生命環境科学研究科教授として生物制御化学講座を主宰。2012年大阪府立大学を定年退職、名誉教授。21世紀科学研究機構特認教授として BNCT 研究センターホウ素薬剤化学講座を主宰。</p>